

様 式 F - 7 - 1

科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成 28 年度）

1. 機 関 番 号

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学
3. 研究種目名 基盤研究(C)（一般） 4. 補助事業期間 平成 27 年度～平成 29 年度
5. 課 題 番 号

1	5	K	0	3	4	5	3
---	---	---	---	---	---	---	---
6. 研究課題名 移行期における次世代自動車の開発と普及のための税制と規格，規制の理論・実証分析
7. 研究代表者

研究 者 番 号	研究 代 表 者 名	所 属 部 局 名	職 名
4 0 4 5 3 4 9 3	アラカワ キヨシ 荒川 潔	社会情報学部	准教授

8. 研究分担者

研究 者 番 号	研究 分 担 者 名	所属研究機関名・部局名	職 名

9. 研究実績の概要

H28年度は、規制と補助金政策の最適なバランスについて理論的分析を行った。その成果を論文「Optimal subsidy policy and missing products under monopolistic competition」にまとめた。具体的には、円環都市型の独占的競争モデルを用いて、社会的に望ましい財の普及策としての補助金政策を分析した。その結果、社会的に望ましい財の普及のために補助金を与えると、消費者価格の低下だけでなく、他の財の市場からの退出を促すことで、普及が進むことを明らかにした。しかし、過剰な補助金を与えると、必要以上に財の種類が減少し、競争圧力の低下による価格の増大をもたらすため、社会厚生を悪化させる可能性を明らかにすることができた。この論文は大学紀要に掲載済みである。

規制と補助金政策がイノベーションに与える影響を分析した論文「Optimal innovation policy with taxation and minimum quality standards」と、電気自動車普及策としての規制と補助金政策を比較した論文「Comparing regulation and fiscal incentives for the promotion of electric vehicles」の2本の論文が査読付き学術雑誌に掲載された。

H29年度に行う自動車税制の実証分析のためのデータ構築を行った。日本市場を分析した結果、消費者は自動車購入において、将来の燃料費の削減、将来の維持費、購入価格の順に評価していることがわかった。

10. キーワード

(1) 最適税制	(2) イノベーション	(3) 規制	(4) 規格
(5) 電気自動車	(6)	(7)	(8)

11. 現在までの進捗状況

(区分) (2) おおむね順調に進展している。

(理由)

H28年度は、規制と補助金の最適なバランスについて理論的分析を行ったが、既に研究を進めていたこともあり、研究成果をまとめて大学紀要に掲載することができた。また、投稿していた2本の論文が査読付き学術雑誌に掲載された。さらに、H29年度で実施する実証研究に用いるデータ構築については、日本市場の構築は完了しており、既に分析を開始している。このように研究計画通りの進捗状況であり、特に問題は生じていない。

12. 今後の研究の推進方策 等

(今後の推進方策)

H29年度は、主要国の次世代自動車の普及政策について、税制と規制の政策効果の国際比較と、技術移行経路の有効性の実証分析を行う。具体的には、Berry et al. (1995)の離散選択モデルをもとに、車種別シェアを被説明変数に、走行距離、ガソリン価格、自動車関係税、規制などを説明変数にして、国や年度ごとに分析することで、税制と規制のどちらが次世代自動車の普及に効果的であるのかを検証する。

(次年度使用額が生じた理由と使用計画)

(理由)

次年度使用額が生じているが、それは千円未満であり、次年度に物品費として支出することを考えたため。

(使用計画)

次年度使用額を物品費として使用する。

(課題番号 : 15K03453)

(注) ・印刷に当たっては、A4判(縦長)・両面印刷すること。

13. 研究発表（平成 28 年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計（3）件／うち査読付論文 計（2）件／うち国際共著 計（0）件／うちオープンアクセス 計（1）件

著 者 名	論 文 標 題				
Kiyoshi Arakawa	Optimal innovation policy with taxation and minimum quality standards				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
応用経済学研究	有	10	2016	1-18	-
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著 者 名	論 文 標 題				
Kiyoshi Arakawa	Comparing regulation and fiscal incentives for the promotion of electric vehicles				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
応用経済学研究	有	10	2016	18-39	-
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難					

著 者 名	論 文 標 題				
Kiyoshi Arakawa	Optimal subsidy policy and missing products under monopolistic competition				
雑 誌 名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁	国際共著
大妻女子大学紀要社会情報系社会情報学研究	無	25	2016	1-14	-
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子）					
なし					
オープンアクセス					
オープンアクセスとしている（また、その予定である）					

〔学会発表〕 計(0)件/うち招待講演 計(0)件/うち国際学会 計(0)件

発表者名	発表標題	
学会等名	発表年月日	発表場所

〔図書〕 計(0)件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	
	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>		

14. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別
				<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>	
				出願年月日	

15. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計(0)件

国際研究集会名	開催年月日	開催場所

16.本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

(1) 国際共同研究： -

17.備考